

地 区 名	関ヶ原・八幡
都 道 府 県 名	岐阜県
市 町 村 名	関ヶ原町、揖斐川町、 本巣市、山県市
過 疎 地 域 指 定 年 月	揖斐川町 平成17年1月 山県市(旧美山町) 平成14年4月
振 興 山 村 指 定 年 月	揖斐川町(旧春日村) 昭和44年12月 揖斐川町(旧久瀬村) 昭和42年12月 本巣市(旧根尾村) 昭和47年2月 山県市(旧美山町) 昭和44年12月
関係する旧緑資源幹線 林道の路線・区間名	関ヶ原・八幡線 関ヶ原区間 春日・久瀬区間 美山区間
作 成 年 度	令和7年度
事 業 期 間	令和8年度～12年度

山のみち地域づくり計画書

(関ヶ原・八幡地区)

岐阜県

目 次

第1章 地区の概要

第2章 山のみち地域づくりの目標・指標と設定の考え方

第3章 事業計画

第1節 目標・指標と整備内容と整合性

第2節 事業計画概要

第3節 予定事業実施主体及び施設の予定管理者

第4節 事業内容及び事業費

第4章 その他事業の実施に関し必要な事項

第5章 計画概要図

第1章 地区の概要

1 地区の概要

当地区は、岐阜県の西部に位置する関ヶ原町、揖斐川町、本巣市、山県市の2市2町で構成され、総面積は県土の約14%に当たる144,934haである。当地区の北部は能郷白山(1,617m)、冠山などが連なる越美山系が東西に走って福井県と接しており、西部は1,300m級の伊吹山、金糞岳などが連なる伊吹山系で滋賀県と接している。主な水系として、根尾川が地区の中央部を、揖斐川が西部を貫流している。地質は、地区の多くが美濃帯中・古生層で、揖斐川町久瀬北西部及び揖斐川町春日北部には花崗岩が分布している。また、地区中央部の本巣市根尾付近には根尾谷断層が南北に走っている。気候は、太平洋型の内陸性の山岳気候に属し、冬季は寒冷で積雪も多く、年間降水量も2,200mm～2,600mmと岐阜県内でも多い方である。

2 森林資源の概要

当地区の総面積は144,934haで、うち森林面積は130,275ha、林野率は90%である。民有林の森林資源の現況は、117,208ha、蓄積28,115千m³で人工林率39%となっている。民有林の人工林面積のうち7齢級以下の保育を必要とする林分は9.2%を占め、特に間伐対象林分である3～10齢級の割合は37.4%という状況にある。当地区は平成20年に竣工した徳山ダムを代表に、中部圏域の重要な水源地となっており、今後も森林の適切な管理を行っていく必要がある。

3 集落及び生活環境の状況

当地区の人口は124,143人で、地区全体ではここ数年僅かに減少の傾向にあるが、山間地域では若年層の人口流出が続き、高齢化率が50%を超える地域もある。山間部の集落は、揖斐川、根尾川とその支流に沿って点在する渓谷型の地域であり、集落間を結ぶ道路は狭小区間も多く、道路整備は遅れている。

このため、これら地域においては、高齢者が安心して生活できる地域づくりと、雇用機会の増大に繋がる交流産業の振興を推進していくことが重要であり、道路網の整備に対する期待は大きい。

4 林道の整備状況

地区内の林道については、令和6年度末現在で約496kmが整備されているが、民有林林道密度は4.2m/haとなっており、県平均の6.6m/haを下回っている状況にあり、林道の整備が急務となっている。

5 林業・林産業の概要

当該地区内で生産される素材については、主に岐阜方面の市場に出荷されている。特に地区内には今須林業や山県市(旧美山町)の谷合板(スギ板)などのブランド材なども多く、山のみちの整備により、林産物の流通合理化が期待される。

また、この地域には市場に出せない細い木材等を利用した木製チップ製造工場が稼働し新たな木材需要が見込まれる。

岐阜県においては、産直住宅の建設促進、公共施設等の木造化・木質化の推進、公共事業への木製品品の導入などにより、県産材の利用を進めるとともに、間伐材等の集成材や合板への積極的な利用に努めているところであり、山のみち整備に伴い、間伐材等の搬出・利用の促進が期待される。

第2章 山のみち地域づくりの目標・指標と設定の考え方

当該計画地区は、中部圏域の重要な水源地となっていることから、適切な森林整備が不可欠となっている。しかしながら、地域の林業の担い手の減少、高齢化が進み、森林の手入れ不足が顕著となっている。このため、林業基盤整備の根幹となる山のみちの整備を契機として、森林施業の集約化や高性能林業機械による伐採搬出システムに取り組み、環境的にも経済的にも持続可能な森林づくりを目指していく。また、これに伴い、これまで切り捨てにより放置されていた間伐材等の有効活用を推進し、地域の林業・林産業の発展、地元森林所有者への所得還元による森林整備意欲の向上を進める。

当該地区周辺にはキャンプ場や温泉施設等が整備されており、これらの観光交流産業の育成は地域の振興に不可欠なものとなっている。しかし、周辺地域の道路整備は依然として遅れており、一部の集落では地域住民と一般車両とのすれ違いに苦慮している現状がある。このことから、山のみちの整備により、これらの観光交流施設へのアクセス改善と地域住民の生活環境の安全性・利便性の向上を図り、もって当該地区の地域振興を推進する。

第3章 事業計画

第1節 目標・指標と整備内容の整合性

1 目標

本地域が抱える課題等に対して、以下の通り目標を設定する。

- (1) 森林の持つ多面的機能の維持・増進
- (2) 森林資源の循環利用を通じた活力ある林業及び木材産業の振興
- (3) 効率的な森林施業の推進

2 指標

- (1) 森林の持つ多面的機能の維持・増進

当該地域の森林は、重要な水源地域となっていることから、地域の森林が有する多面的機能の維持・増進を図っていく必要があり、このためには、計画的・継続的な森林整備が重要である。

そこで、本計画においては、各路線ごとの森林資源構成を勘案しつつ、適切な森林施業を計画的に実施することとし、過去5か年間で実施した面積以上の森林整備(間伐等)の実施を推進することを指標とする。

【指標】

路線名	利用区域	指標	事業による効果		備考
			過去5か年の実績	今後5か年の計画	
関ヶ原	338ha	森林整備(造林、保育、間伐)面積の2%以上の増加	造林、保育、間伐 45.4ha	造林、保育、間伐 46.3ha	
春日・久瀬	1,609ha	森林整備(造林、保育、間伐)面積の2%以上の増加	造林、保育、間伐 47.2ha	造林、保育、間伐 48.1ha	

- (2) 森林資源の循環利用を通じた活力ある林業及び木材産業の振興

当地域の基幹的な林道となる山のみちの整備により、森林施業の集約化や林業の機械化の推進が期待される。当地域の森林から生み出される木材などの林産物を効率的に生産し無駄なく有効利用することによって、農山村をはじめとした地域社会の活性化につながるよう、林業及び木材生産の振興を図ることが重要である。

そこで、本計画においては、各路線の森林資源構成を勘案しつつ、適切な間伐施業を計画的に実施することとし、それによって生産される木材の有効利用を推進することを指標とする。

【指標】

路線名	利用区域内利用間伐面積	指標	事業による効果		備考
			過去5か年の実績	今後5か年の計画	
関ヶ原	16.9ha	木材生産量の増加 (利用間伐面積の増加)	14.1ha	16.9ha	
春日・久瀬	23.0ha	木材生産量の増加 (利用間伐面積の増加)	16.2ha	23.0ha	

(3) 効率的な森林施業の推進

当地域の林業は、森林所有者の経営意欲の衰退、林業担い手の減少・高齢化が依然として続いている状況であり、適正な森林整備・保全や効率的な森林施業の推進を行うため、林業従事者の就業環境の改善を図ることが重要である。

そこで、本計画においては、林道整備を行うことにより、林業従事者の歩行時間、資材運搬等の基礎的なアクセス時間を短縮することを指標とする。

【指標】

路線名	指標	事業による効果		備考
		現状	目標	
関ヶ原	車両及び歩行時間短縮 (片道)	127分	40分	
春日・久瀬	車両及び歩行時間短縮 (片道)	63分	46分	

第2節 事業計画概要

1 山のみちの整備

(1) 林道整備

区分	番号	路線名	幅員	延長	利用区域 森林面積	主要 構造物	関連する 旧緑資源 幹線林道	基幹道 指定	実施 年度	備考
開設	①	関ヶ原	m 5.0	m 440	ha 338		関ヶ原	無	R8 ～ R12	
	②	春日・久瀬	7.0	110	1,609		春日・久瀬	無	R8 ～ R12	
	計			550	1,947					

(2) 作業道等整備

該当無し

2 地域創造型整備の目的及び内容

該当無し

3 事業見直し調査の目的及び内容

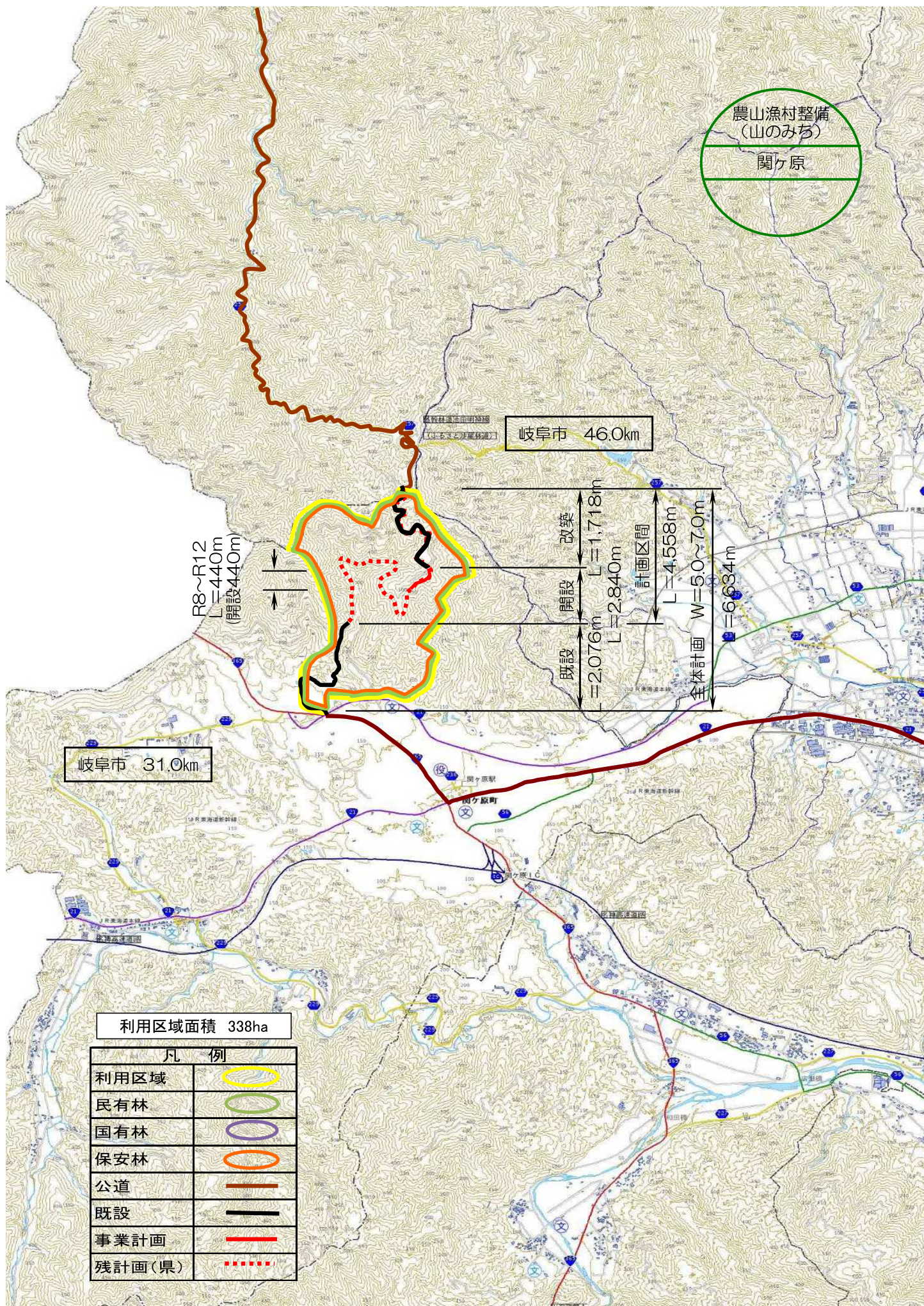
該当無し

第3節 予定事業実施主体及び施設の予定管理者

事業 種目	番号	路線名 ・施設名	予定事業主体	予定管理者	予 定 管理方法	備考
林道 整備	①	関ヶ原	岐阜県	関ヶ原町	直営	
	②	春日・久瀬	岐阜県	揖斐川町	直営	

第4節 事業内容及び事業費

事業種目	路線名 ・施設名	事業量 (m)	単価 (円)	事業費 (千円)	備考
林道整備	関ヶ原	440	500,000	220,000	
	春日・久瀬	110	1,100,000	121,000	
計		550	620,000	341,000	



山のみち地域づくり交付金事業計画図
 【関ヶ原・八幡地区 春日・久瀬線】
 S=1/25,000



県道 山東本巣線

EP

全体計画 W=7.0m、L=11,590m

完成区間
W=7.0m L=9,530m

計画区間H21～R12
W=7.0m、L=1,340m
事業費 1,400,000千円

完成区間
W=7.0m L=720m

R8～R12
L=110m

新設区間
W=4.0m
L=263m

新設区間
W=4.0m
L=314m
(うち既設51m)

改良区間
春日中郷市瀬線
W=3.5～4.0m
L=309m

春日中郷市瀬線
W=3.5～4.0m
L=454m

県道 春日揖斐川線

BP

凡 例	
利用区域	
民有林	
国有林	
保安林	
公道	
既設	
事業計画	
残計画(県)	

